

# ***FANCT vol. 138-Mar.***



# 高専祭を終えて

高専祭実行委員長 電気情報工学科第4学年 沼田 陸斗

まず、第61回高専祭が行えたことをとても嬉しく思います。前年度の高専祭がコロナウイルスにより前夜祭のみで終わってしまった悔しさがあり、今年度こそという気持ちで企画・準備を行っていたため、無事高専祭ができたことにとてもほっとしています。

高専祭当日は、各学科による実験実習展示や学生による展示飲食出店はどこも大盛況で、一般公開イベントもたくさんの小中学生に参加していただきました。

中夜祭や後夜祭、花火大会はとても盛り上がり、学生にとって大切な思い出の一つになったのではないかと思います。

最後になりますが、高専祭を開催するにあたって協力くださった教職員の方々、学生の皆さんにこの場を借りて厚くお礼申し上げます。そして人員不足の中、頼りない実行委員長を支えてくれた学生会のみんなには頭が上がりません。本当にありがとうございました！



# 4年見学旅行を終えて

## 令和5年度 工場見学旅行スケジュール

機械システム工学科 フィアン

学 科	日 付	見 学 先
機械システム工学科	10/25	日本製鋼所 M&E (室蘭市)
		エア・ウォーターガスプロダクツ (室蘭市)
	10/26	榑崎製作所 (室蘭市)
		いすゞ北海道試験場 (勇払郡)
		北海道電力 水素製造設備 (苫小牧市)
	10/27	山崎製パン (恵庭市)
トヨタ自動車北海道 (苫小牧市)		
電気情報工学科	10/25	北海道住電精密 (奈井江町)
		シンセメック (石狩市)
	10/26	NTT東日本-北海道 (札幌市)
		北海道電力石狩湾新港発電所 (石狩市)
	10/27	セイコーエプソン (千歳市)
		デンソー北海道 (千歳市)
システム制御情報工学科	10/25	NTT東日本-北海道 (札幌市)
		竹中工務店 (札幌市内工事現場)
	10/26	日本血液製剤機構・千歳工場 (千歳市)
		室蘭工業大学【機械系・電気系・情報系】(室蘭市)
	10/27	日本製鋼所 M&E (室蘭市)
		出光興産・苫小牧製油所 (苫小牧市)
物質化学工学科	10/25	北海道三井化学 (砂川市)
		北海道大学 環境科学院 (札幌市)
	10/26	キッコーマン千歳工場 (千歳市)
		カネカ苫小牧工場 (苫小牧市)
	10/27	出光興産 北海道製油所 (苫小牧市)
		サッポロビール北海道工場 (恵庭市)

この見学旅行に参加したことは、私にとってとても素晴らしい経験になりました。苫小牧と室蘭の様々な業界の複数の企業を訪問し、職場環境についての見識を広げました。どの業界や部署で働くかを決めるのに役立つだけでなく、どの企業も材料やサービスの購入や販売で他の企業に依存しているという、業界間の絡み合いも学ぶことができました。

また、発展途上国であるインドネシアに生まれた外国人として、この旅に参加したことは私を大いに魅了しました。日本が価値ある商品の製造国になることで、いかにして経済大国へと成長したのか、私の視野を広げてくれました。もちろん、日本が大国になったのには、良い統治など他にもいくつかの要因がありますが、工業化はおそらく、国が発展しているときに観察できる最も簡単な指標でしょう。

ここで止まらずに、社会が進むにつれて、こうした業界も大きく変わっていくでしょう。未来のことが分かる者は居ませんが、何か進展があれば、社会全体の利益になるようなことを願っています。



いすゞ北海道試験場集合写真

# 4年見学旅行を終えて

電気情報工学科 水島 巧斗

今回の見学旅行で、電気情報工学科4年は道内6企業を訪問・見学させて頂きました。

1日目、1社目の北海道住電精密株式会社様では、超硬工具の製造工程や最適化された工場のフローを見学させて頂きました。2社目のシンセメック株式会社様ではオーダーメイドの機械設備を製作する現場を見学させて頂きました。中でも、カボチャ乱切り装置の見学では農産物であるカボチャに対してどのように効率を上げてクライアントの負担を減らすか、エンジニアの技術が詰まった製品を見ることができ、大変有意義でした。

2日目、3社目のNTT東日本-北海道/NTTME様では現代に欠かすことができない通信インフラ設備を見学させて頂きました。4社目の北海道電力 石狩湾新港発電所様ではLNGを用いた発電所を見学させて頂きました。北海道が半導体関連の工場建設等で盛り上がる中、需要が増える電力の安定供給を担う発電所の仕組みなどを教えて頂き電力関連への関心が高まりました。

3日目、5社目のセイコーエプソン 千歳事業所様では教育現場等で多く採用されているプロジェクターや電子黒板などに欠かせない半導体製造等を見学させて頂きました。6社目のデンソー北海道様では自動車向けの半導体等を製造する工場を見学させて頂きました。無駄を徹底的に排除し、自動化や他の工場では見られない構造などがあり新鮮でした。

今回の見学旅行を通して、消費者にとって必ずしもメジャーでない企業や工場であっても、日常生活に深く関わっていることを改めて実感すると共に、今まであまり興味がなかった業界にも大きな関心を持つことができました。またどのような進路であっても、共通する重要なことも各企業で教えて頂くことができました。



セイコーエプソン集合写真



シンセメック見学の様子

# 4年見学旅行を終えて

システム制御情報工学科 相馬 ひなた

10月下旬の見学旅行で、システム制御情報工学科は、道内の企業や大学を見学させて頂きました。

その中でも、出光興産北海道製油所と日本製鋼所M&E室蘭製作所では、広大な敷地と大きな設備を目の前で見学でき、大変印象的でした。いずれの見学先でも、普段は見られない作業現場を丁寧な説明で案内して頂き、とても貴重な経験になりました。仕事風景では、社員さん同士の和気藹々とした雰囲気や仕事に対するモチベーション等を実際に見聞でき、自分の求める環境や何をモチベーションにするかなど、想像の幅が広がりました。ホームページには載っていない情報も、深掘りして説明して頂いたのも、とても心に残りました。

コロナウイルスのために、これまで学校行事を殆ど経験できなかったのが、クラス纏まっての見学旅行はとても楽しかったです。この旅行のおかげで、クラスの雰囲気もより一層明るくなった気がします。

これから本格的な受験や就職活動の時期になりますが、見学旅行での経験と持っている知識を糧に、自分の進路に向かってより一層努力したいと思います。

物質化学工学科 尾崎 琳

今回の見学旅行を終えてということで、三日間の日程で5社、1校の見学をさせて頂き、私たち4年物質化学工学科学生にとって、とても有意義な時間となりました。

会社見学においては、工場等の見学において普段は見る事ができない工場内を見学することができ、とても関心を惹くような内容でありました。人事、OBOG、工場の方への質疑応答の時間を設けて頂いた事もあり、工場見学において気になった点などについてもより理解を深めることができました。また、企業の部署での具体的な業務内容や職場環境まで、ご丁寧に説明していただいたことで、見学させて頂いた会社をより知ることができるものとなり、進路選択の材料になった学生が多くいると思います。

また、北海道大学環境化学院の研究室見学においては、班に分かれてそれぞれ3つの研究室見学をすることができました。研究室の説明等は見学後それぞれ、質疑応答の時間を設けてくださり、研究内容の説明から大学院での生活などまで、ホームページには載っていない学内の雰囲気や学生生活までOBなどに聞けてたくさんを知ることができました。このような機会はとても貴重でした。



出光北海道製油所集合写真



苫東工場前での集合写真

# 仕事研究セミナー実施報告

キャリア形成室長 杉本 剛

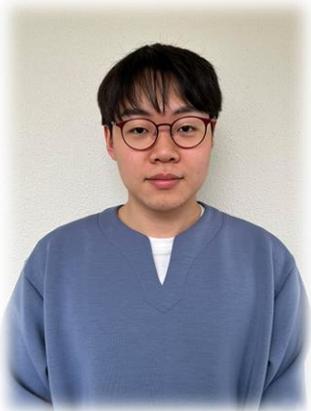
令和5年12月2日(土)、本校第2体育館で112社の企業が出展し、「仕事研究セミナー」が開催されました。コロナ禍も終わり、3年ぶりの充実したセミナー開催となりました。就職活動直前の4年生と専攻科2年生を主体に、興味ある低学年も参加して、約170名の学生が企業ブースを訪問し、真剣に企業の話に耳を傾けました。令和4年度に就職活動をした5年生は、世界情勢・コロナ禍の変化を受け活動スタイルが大きく変化する状況下で、かなり手探りでの就職活動となりました。これから活動に入る新5年生は多くの情報を得ることになりますが、自分のなりたい姿を明確にした上で、しっかりと社会を見極めて希望する会社の内定を勝ち取って欲しいと願っています。



仕事研究セミナーの様子

## 卒業に寄せて

機械システム工学科 第5学年 佐藤 一希



この学校で過ごした5年間は、感染症の流行によって大きな影響を受けました。2年生の初めから3年の前期までは、オンライン授業になり、各自が自宅で授業を受けることになりました。勉学に対するモチベーションの維持が難しく、辛かったのを覚えています。感染症の影響は4年次まで残り、多くの学校行事が中止になってしまいました。

また、インターンシップも複数の企業や大学が、オンライン上での実施や中止となり、貴重な機会を奪われた者も少なからずいました。こうした状況のなかでもクラスメイト同士でお互いに助け合い、教員や家族に支えられながら、今こうして卒業を迎えることができました。

周りの助けが無ければ、ここまで来ることはできませんでした。

この5年間を通して知識、技術の他にも、協調性やコミュニケーション能力等、身につけたことを将来に活かしていけたらと思います。

支えてくださった皆さん、今までありがとうございました。

## 卒業生を送るにあたって

機械システム工学科 第5学年学級担任 宇野 直嗣

機械システム工学科5年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。1、2年次の担任であった本荘先生よりクラスを引き継ぎ、5年次まで、久しぶりの3年間のクラス担任を務めさせていただきました。その間、3年次ではまだコロナ禍にあり、コロナウイルスの感染状況に振り回される場面もありましたが、4年次では多くの学生がインターンシップを道外で実施できました。また、工場見学旅行も実施できたことで、中止となった2年次の宿泊研修旅行の分も楽しい時間が持てたのではないかと思います。5年次では、年度早々から、時間に追われるように就職や進学的活動を行いました。それまでの頑張りが報われ、機械システム工学科としては初めて進学率が6割を超え、就職もほとんどの学生が第1希望の企業への内定を得ることが出来ました。

4月からはそれぞれが気持ちを入れ替え、新しい環境で、次の目標に向かって精進しなければなりません。旭川高専で過ごした5年間の思い出、自信をもって人生を歩んでくれることを祈念しております。



## 卒業に寄せて

電気情報工学科 第5学年 高橋 優心



最高学年になったという自覚もないまま高専での5年間の終わりを迎えてしまいました。「高専では青春を味わえない」と言われることもありますが、私たち5年電気情報工学科は、この命題の反例となるようなクラスです。特に今年度は就活に受験、さらに卒業研究と多忙を極めていましたが、体育祭では数々の強豪クラスを破っての総合優勝、高専祭では準備期間1週間という絶望的なスケジュールのなか出店したチュロス屋「5E」を大繁盛させ、イベントのたびにクラスの団結力を深めることができたのではないかと思います。

一方で学業面は疎かになってしまうことも多々ありました。すぐレポートを懐に溜め込んでしまう私たちでし

たが、決して見放さず真摯に向き合ってくれた先生方には頭が上がりません。

最後になりますが、吉本先生をはじめとする先生方、5年間で9回級長を務めるという蛮行を許してくれたクラスメイトへ心からの感謝を送ります。

本当にありがとうございました。



## 卒業生を送るにあたって

電気情報工学科 第5学年学級担任 吉本 健一

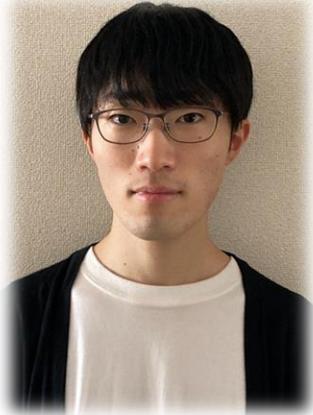
卒業おめでとうございます。私が担任となった時は、コロナ禍で皆マスクをしていて、学校行事なども制限され大変な時期でした。そのような中でも、インターンシップや見学旅行、就職活動などは何とか実施できてよかったです。

やっと5年生で感染が落ちついてきて、体育大会ではウオークラリーとソフトボールでも優勝し、総合優勝をとりました。目標が定まると団結して力を発揮するクラスでしたね。卒業後は就職と進学に分かれ、先に就職する人はこれから責任も大きくなり大変なこともあります。そんな時には今まで高専で培ってきた自分の力を信じて取り組んでください。20代の10年間は種々なことを吸収できる時で、この時期に得た経験はこれからの人生に役立つ大きな財産になるので、何事にもチャレンジして自分にもっと磨きをかけましょう。一方、社会人になると、種々のストレスがかかるものです。健康に十分留意して充実した人生を送ってほしいと思います。

君たちの今後の活躍を心から祈念しています。

## 卒業に寄せて

システム制御情報工学科 第5学年 須佐 千風



この学校で過ごした5年間は長い時間でありながら、あっという間でした。私たちのクラスは留年者はいたものの、留年してくる先輩も留学生もいなかったのも5年間まったく様変わりしませんでした。ともに学校生活を楽しんだ良き仲間たちです。2年生以降、コロナ禍によってこれまで通りの学校生活を送ることができなりましたが、仲間と過ごした時間はかけがえのないものとなりました。

また、歴代の中でも特に学力面に不安のあるクラスでしたが、このようなクラスでもこれまで担任となって私たちを支えてくださり、卒業まで導いてくださった松井先生、佐竹先生、阿部先生には感謝の気持ちでいっぱいです。そして、システム制御情報工学科の教員をはじめとする高専関係者の方々や家族のサポートのおかげで、充実した学校生活を送ることができたことに深く感謝申し上げます。卒業後は高専生らしい活躍を見せられるようにこれまで学んだことを存分に生かし、精進していきたいと思えます。

## 卒業生を送るにあたって

システム制御情報工学科 第5学年学級担任 阿部 晶

5年システム制御情報工学科学生諸君ならびに保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。1、2学年は松井先生、3学年は佐竹先生、4、5学年は阿部と担任を引き継いでできました。5学年の担任としてはクラス全員の進路が決まり、最低限の仕事はできたかなと思いきや安堵しています。5年間の学校生活で各担任から苦言があったかもしれませんが、これは卒業を迎えるためです。ご理解願います。

さて、4月からは新生活が始まります。就職する者は学生とは立場が大きく変わり、無断欠席・遅刻は厳禁です。また、保護者からの衣食住の手厚い支援もなくなります。独り立ちしてください。また、進学者は保護者の支援の下に学業に勤しめることに有難さを感じ、将来(就職先)を見据えて行動してください。

最後に、諸君らはまだ「原石」です。ダイヤモンドの様に輝くようこれから社会で揉まれ磨かれてください。そして、40～50代で輝き、勤務先の先輩ならびに後輩から信頼され慕われる人物に成長し、実りある人生を歩むことを期待しています。諸君らはこれを成し遂げられると確信しています。なぜなら、システム制御情報工学科を卒業したのだから。



## 卒業に寄せて

物質化学工学科 第5学年 福澤 果純



この五年間の高専生活は私にいろいろなものを与えてくれました。授業で得た知識や実験、卒業研究による経験、日常生活や学校行事での思い出など挙げきれないほどです。レポートやテストなど大変なこともありましたが、それにより得られたものは私の大きな財産となりました。最初はなんでやっているんだと思っていた勉強がその後の授業や実験で繋がった時にはとても感動しました。授業だけでなく進路や研究など厚くご指導いただき、ここまで導いてくれた先生方に心から感謝申し上げます。

学校行事は新型コロナウイルスの影響でなくなってしまったものもありましたが高学年の時に再開し、体育大会の競技優勝や学校祭での出店などを行うことができました。

五年間楽しい学校生活が送れ、大切な思い出となったのはクラスの皆のおかげです。ここで皆と道が別れてしまうのは少し寂しいですが、この五年間で得たものを糧にこれから世のため人のため頑張っていきたいです。



## 卒業生を送るにあたって

物質化学工学科 第5学年学級担任 津田 勝幸

2年前同様、私は4年生からのイレギュラーな形での担任となりました。在学中は新型コロナの影響を3年間受け、その影響からか体力は極めて弱く、私が引き受けてから全員が授業に揃ったことはほぼなかったように記憶しております。また、通常の高専生活を送れず“青春って蜜”の時期を逃したクラスでしたので、卒業が嬉しい反面やり残した感も多く残しているのではと思われま。私自身は最後の担任となり学生との年齢差も最大となったため、まずはコミュニケーションを持つよう努めましたが、何もできずに卒業を迎えてしまった感があります。

卒業後は転げる前や転けたときに手を差し伸べてくれる人が居ないかもしれません。しかし、自分が5年間やり通せたことを自信と誇りにし、自分自身のための人生を過ごしてくれることを願い送り出したいと思います。

最後に、クラス運営に理解を頂きました保護者の皆様、体育大会クラスTシャツイラストにご協力して頂いたお母様、大変ありがとうございました。そして、5年間本当にご苦労さまでした。

## 専攻科修了に寄せて

生産システム工学専攻 第2学年 武井 冬馬



私は3年前のまだ本科生だったころ、専攻科に入学することを決めました。高専に入学した当時の私にこのことを話したら大変驚いたことでしょう。想像もつかなかった専攻科ですが、入学してみるととても良い環境でした。専攻科生活の中で思い出深かったのはフランスに短期留学することができたことです。コロナ禍の影響で休止されていたのが、たくさんの人のおかげで私の学年から再開され、訪れることができました。留学して体感したのは工学という共通言語でどこの国の人ともつながることができる

ということです。この経験は生涯忘れられないでしょう。また、先輩方と共同で全国各地で研究成果を発表したこともよい経験になりました。沢山のことを研究を通して得ることができ、とても濃厚な2年間となりました。

たくさんを経験をさせてくれた専攻科と教職員の方々に感謝を込めてこの文章を締めさせていただきたいとおもいます。ありがとう、旭川高専！！！！！！

## 専攻科修了生を送るにあたって

生産システム工学専攻主任 戸村 豊明

生産システム工学専攻修了生の皆さん、修了おめでとうございます。皆さんが本科にいた頃は新型コロナウイルスが大流行していて、思うように学業に取り組めない日々が続いたかと思います。専攻科入学後は、ようやくコロナ禍が収束したので、進学・就職を目指して大いに学業に専念できたことでしょう。7年間にも及ぶ高専生活にピリオドを打って、4月からは新しい環境での生活が始まるわけですが、楽しいことだけでなく、苦しいことや嫌なことも経験すると思います。そのようなときは、高専時代に培った不撓不屈の精神を忘れずに、時には周囲の人達に支えられながら、あらゆる困難を乗り越えて、将来の日本を支える技術者として大いに活躍してくれることを期待しております。

## 専攻科修了に寄せて

応用化学専攻 第2学年 福原 天音



私は、専門分野を生かした職に就きたいという思いから、専門に関する知識・技術をより深く学ぶために専攻科に入学しました。専攻科では研究が主となり、時間割の特別研究のコマ数は本科に比べて多くなりますが、その時間だけでは足りず放課後の大部分の時間を研究に費やしていました。専攻科1年生では特に授業が想像以上に多く、レポートや学会準備などと並行して研究することが大変でした。私はより高度な知識を得るため専攻科修了後は、北海道大学大学院環境科学院への進学を考えています。

専攻科では4週間インターンシップに参加する必要があり、実務経験を積むことができます。そこで実際に研究室で体験し、進学を決めました。私はTOEICの成績が悪く入学試験の際に苦労しました。進学、就職にかかわらず英語は必要になってくると思うので早めの勉強をお勧めします。

最後になりますが、お世話になった先生、クラスメイト、高専の関係者の方に心より感謝申し上げます。

## 専攻科修了生を送るにあたって

応用化学専攻主任 宮越 昭彦

この度、修了を迎えた皆さん、たいへんおめでとうございます。応用化学専攻主任の立場から、お祝い申し上げます。皆さんは“化学のエキスパート”として、これから社会やさらに大学院で伸びゆく人材になることが期待されています。最近、巷で「〇〇の化学反応」といった表現を耳にすることがあります。その解釈は色々ですが、“一見異質なモノ・コトの組み合わせにより思いがけず大きな成果が生まれる”といった比喩に使われることが多いと思われます。皆さんは正真正銘、本物の化学反応の世界に踏み込んで、原子・分子レベルの世界や、生化学の機構解明、社会に貢献し得る化学(科学)技術に取り組んできました。その経験を糧に、修了後は皆さん自身の“化学反応”を楽しんで、これから直面する様々な物事に対して、自分にしかできないカラフルな人生を創り上げて欲しいと思います。ただこれらも心身の健康があってこそです。皆さんのご健勝を願いながらエールを送ります。



専攻科特別研究発表会終了後

# 高専ロボコンを終えて

ロボットラボラトリ顧問 三井 聡

## 【競技内容】

今年で36回目を迎えた高専ロボコンの競技のテーマは「もぎもぎ！フルーツGOラウンド」です。角材を乗り越え、ロープを潜り、センターゾーンとルートの途中に、ぶら下げられたフルーツを収穫し、そのフルーツの得点の合計を競います。

## 【北海道地区大会編（10月1日）】

毎年のように全国優勝を目標に掲げている部員は、意気込みだけではなく、他高専に負けない知恵と努力する覚悟を持って活動しています。苦労を覚悟していたとはいえ、今年のロボコン活動はこれまでに体験したことのない過酷なものでした。北海道地区大会は全国に先駆け最初の大会の日程となったことで、夏期休業あけの2週間後に前期末試験、その1週間後に北海道地区大会（苫小牧高専）となりました。日程だけでなく、酷暑の夏期休業が部員の体力、気力を削っていきました。

苫小牧高専で開催された地区大会は、A、B両チームとも競技直前まで調整しなければいけない状況のまま、競技に挑むことになりました。

両チームのロボットはその性能を發揮できませんでしたが、Aチームが準優勝、Bチームがアイデア賞を頂きました。残念ながら7年連続の優勝を果たすことができませんでしたが、4年生中心のBチームが全国大会に推薦していただき、12年連続、22回目の全国大会に出場することができました。

## 【全国大会編（11月26日）】

全国大会出場が決まると、A、Bに分かれていたチームはチーム旭川となり、部員全員が一つになって、全国仕様の新たなロボットを製作します。しかし、製作時間がたっぷりあったにも関わらず、フルーツの獲得が不確実のまま、全国大会に挑むことになってしまいました。

地区大会に続き、追い打ちをかける日程が全国大会翌日から始まる後期中間試験でした。成績順位が下がると、進学希望の4年生にとっては大きなハンデとなってしまいます。

競技前日にテストランを行い、競技委員による動作確認があります。フルーツ獲得どころか、角材を越えると直ぐに暴走する現象が起きてしまい、センターゾーンに行くことすらできず、暴走を改善しなければ、危険行為とみなされ競技への出場ができない状況に追い込まれました。学校での練習では暴走したことがなかったのですが、その原因がわからず、制御担当のチームリーダーは、ホテルに戻ってからその対応に終われ、ほとんど寝ずに朝を迎えたようです。

一回戦は角材を越える前に獲得できた2個のフルーツでどうにか勝つことができたのですが、2回戦目は何もできずに終わりました。結果はともかく、最後まで諦めずに一丸となって問題解決に尽力していた素晴らしいチームでした。

高専ロボコンはまだまだ続きます。今後とも皆様のご協力とご理解、ご声援をよろしくお願いいたします。



北海道地区大会準優勝のAチーム



全国大会の様子



旭川高専 全国大会終了後

# 定年を迎えるにあたって

物質化学工学科 教授 津田 勝幸

年齢が来れば誰しも定年を迎えることを理解しておりましたが、最後の20年間は連続して校務と担任に就かせていただき、幸か不幸か定年後のことを考える暇もなくこの日を迎えることになりました。学生時代を含め、本校には39年1ヶ月の間お世話になりました。振り返ってみると、本校学生時代は一般化学と英語では赤点続きだったのに、化学科の教員となり国際交流を担当できたことは何か不思議な感じがします。周りの温かいお心遣いにより何とかそつなく終わられたとっております。在職中には高専時代のクラスメートや卒業生にも色々お世話になり、高専ならではの5年間の密な人間関係のおかげだったと改めて感じています。最近では、卒業生の様子を来校した企業の方々から伺うことも多く、その活躍を心から嬉しく思っています。高専教員として技術者教育に携わることができ、本当に幸せでした。これまでお世話になった旭川高専の教職員、卒業生、在校生、保護者の皆様に感謝申し上げ、退任の御挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

## 令和5年度をもって退職される方々

所属・職名	氏名
物質化学工学科・教授	津田 勝幸
総務課長	遠藤 克紀
学生課長	齋藤 嘉光
カウンセラー	藤井 厚子



コンケン大学とカセサート大学（タイ）  
及び本校専攻科学生と（津田は後列左端）

# 本科卒業生・専攻科修了生進路状況〔就職〕 令和6年3月29日（金）現在

本科卒業生就職 73名（道内：25名 道外：48名）

就職先（道内）	M	E	S	C
旭イノベックス株式会社	1			
旭川市消防局				1
出光興産株式会社				1
エア・ウォーター北海道・産業ガス株式会社			1	
株式会社大塚製薬工場				1
株式会社olivier			1	
国策機工株式会社	1			
株式会社コンストラクションサポート				1
札幌日信電子株式会社			1	
有限会社 J-TRIM（ジェイトリム）		1		
シンセメック株式会社	1			
東芝ホクト電子株式会社			1	
株式会社NICHUJO			1	
一般社団法人日本血液製剤機構				1
株式会社橋本川島コーポレーション	1			
株式会社ホクエイ	1			
ホクサン株式会社				1
ホクレン農業協同組合連合会				1
北海道電力株式会社		1		
北海道三井化学株式会社				1
株式会社北海道LIXIL製作所	1	1		1
北海道旅客鉄道株式会社			1	
株式会社明治				1
道内 25名（旭川市5名）	6	3	6	10

本科卒業生の就職先（道外）1	M	E	S	C
株式会社アイ・エス・ビー		1		
アズビル株式会社			1	
株式会社アネブル	1			
ウナルステクノロジー株式会社		1		
NTT東日本グループ会社			2	
KDDIエンジニアリング株式会社		1		
関東化学株式会社				1
三洋化成工業株式会社				2
JX金属株式会社			1	2
ジャパンマリンユナイテッド株式会社 横浜事業所	1			
株式会社SCREEN SPE サービス		1		
株式会社SCREEN セミコンダクターソリューションズ		1		
住友電設株式会社		1		
セイコーエプソン株式会社		1		
第一三共ケミカルファーマ株式会社				1
第一三共プロファーマ株式会社				1
大日精化工業株式会社				1
株式会社竹中工務店			1	
株式会社タジマモーターコーポレーション			1	
中部電力株式会社		1		
テコム株式会社		1		
東レ株式会社				2
DOWAサーモエンジニアリング株式会社	1			

本科卒業生の就職先（道外）2	M	E	S	C
西日本旅客鉄道株式会社			1	
日東電工株式会社				1
日本オーチス・エレベータ株式会社			1	
日本ゼオン株式会社				1
日本飛行機株式会社	1			
浜松ホトニクス株式会社			1	
株式会社バンダイナムコスタジオ			1	
富士電機株式会社		1		
富士フィルムビジネスイノベーションジャパン株式会社			1	
株式会社まえばー			1	
株式会社牧野フライス製作所	1			
丸善石油化学株式会社				1
三浦工業株式会社			1	
株式会社ミライト・ワン		1		
株式会社メンバーズ			1	
矢崎総業株式会社				1
雪印メグミルク株式会社				1
株式会社ラック			1	
株式会社LIXIL 千葉事業所		1		
道外 48名	3	9	6	10

専攻科修了生就職 9名 （道内：2名 道外：7名）

専攻科修了生の就職先（道内）	P	A
株式会社AIS北海道	1	
ラテラル・シンキング株式会社	1	
道内 2名	2	
専攻科修了生の就職先（道外）	P	A
INTLOOP株式会社	1	
NTTアノードエナジー株式会社	1	
大日精化工業株式会社		1
日東電工株式会社		1
東日本電信電話株式会社	1	
ファナック株式会社	1	
株式会社福井村田製作所	1	
道外 7名	5	2

# 本科卒業生・専攻科修了生進路状況 [進学] 令和6年3月29日(金)現在

本科卒業生進学 65名 (専攻科: 27名 大学: 38名)

専攻科進学	M	E	S	C
旭川高専 専攻科	8	5	7	7
北見工業大学 工学部 (3年次)	1			
公立ほこだて未来大学 システム情報科学部 (第3年次)		1	1	
北海道大学 工学部 情報エレクトロニクス学科 (第3年次)		1	1	
北海道大学 工学部 応用理工学系学科 (第3年次)				1
室蘭工業大学 理工学部 システム理化学科 (第3年次)		1	1	1
秋田大学 工学部 数理・電気電子情報工学科 (第3年次)		1		
宇都宮大学 工学部 基盤工学科 (第3年次)		1		1
金沢大学 理工学域 機械工学類 (第3年次)	1			
群馬大学 情報学部 (第3年次)			1	
岐阜大学 応用生物科学部 応用生命課程 (第3年次)				1
島根大学 総合理工学部 (第3年次)			1	
東京農工大学 工学部 (第3年次)		1		
豊橋技術科学大学 機械工学課程 (第3年次)	7		1	
豊橋技術科学大学 応用化学・生命工学課程 (第3年次)				2
豊橋技術科学大学 電気・電子情報工学課程 (第3年次)		4		
長岡技術科学大学 工学部 機械工学分野 (第3学年)	2			
長岡技術科学大学 工学部 物質生物工学分野 (第3学年)				3
弘前大学 理工学部 機械科学科 (第3年次)	1			
琉球大学 工学部 エネルギー環境工学コース (第3年次)			1	
	20	15	14	16

専攻科修了生進学 8名

大学院進学	P	A
長岡技術科学大学 大学院工学研究科工学専攻修士課程	1	
北海道大学 大学院情報科学院 修士課程	1	
北海道大学 大学院生命科学院 修士課程		4
北陸先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 修士課程	1	
早稲田大学 大学院情報生産システム研究科 修士課程	1	
	4	4

# 旭川高専産業技術振興会の企業紹介

## NO.33【株式会社 福居製餡所】

### 【会社概要】

設立:1969年4月25日

従業員数:25名

事業内容:生餡・煉餡・菓子の製造および販売、雑穀の売買

### 【アピールポイント】

創業昭和23年。道北唯一の老舗製餡所として旭川に工場を構えています。当社は道内のみならず全国のお取引先とおつきあいをさせていただいております。

地元の原料にこだわり、オートメーション化に頼らず要所要所に職人の手を介することで伝統の味を守っています。その一方で原料の入荷、加工、出荷までの履歴を見える化するためのトレーサビリティシステムを導入し品質の信頼保持にも努めています。

餡製造に伴う業務として、ボイラーの管理、製造釜等の機械操作、真空包装機の操作、トレーサビリティシステムの管理・操作等があります。

旭川高専で学ばれた経験が活かせる職場環境となっておりますので、就職先としてご興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

### 【連絡先】

住所:旭川市2条通20丁目左9号

TEL:0166-31-5001

URL : <https://www.seianjo.jp>



福居製餡所全景



製造の様子



工場内の様子



小売商品の一例

# 旭川高専産業技術振興会の企業紹介

## NO.34【株式会社UZUZ】

### 【会社概要】

設立 2012年2月22日

従業員数（グループ合計）:220名(旭川拠点29名)

事業内容 ・人材紹介事業(新卒・第二新卒・既卒者向け)

- ・就職支援事業(YouTube・キャリアモン・情報メディア)
- ・教育研修事業(法人向け)
- ・ITスクール事業(個人向け)
- ・公共事業受託事業(デジタル人材育成・IT教材提供など)
- ・採用コンサルティング事業

### 【アピールポイント】

株式会社UZUZは、代表取締役と旭川拠点長の出身地である旭川を盛り上げたい一心で拠点を作る事を決意し2022年1月にオフィスを開設しました。弊社は人材紹介がメインの事業で、旭川ではコールセンターとwebマーケティング部門を担い、地域の事業としては旭川市役所の業務改善支援など幅広く運営しております。旭川市を盛り上げられるよう取り組んでおります。興味があれば、是非ご連絡お待ちしております。

### 【連絡先】

住所:旭川市3条通19丁目 1342-3 中川ビル 3階

TEL:03-5333-0802(旭川オフィスに転送)

URL : <https://uzuz.jp/>



受付



旭川オフィス2

# FANCT vol. 138-Mar.



独立行政法人 国立高等専門学校機構  
旭川工業高等専門学校

〒071-8142 旭川市春光台2条2丁目1-6

TEL: 0166-55-8000 (代表)

FAX: 0166-55-8082

URL: <https://www.asahikawa-nct.ac.jp/>

学校だよりに掲載されている記事・写真などは、学校だよりへの掲載目的以外の利用および外部への提供は一切行いません。また、個人情報に関するお問い合わせは、上記担当までご連絡ください。掲載の記事・写真・イラストなどのコピー・転写等の2次利用は固くお断りいたします。